市町村名	座間味村

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	座間味村海域安全隊事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-ウ 安全・安心に暮らせる地域づくり
担当部課名	船舶・観光課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	座間味村内の3ビーチ（古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ）において、観光客が増加する4月から11月シーズンの海難事故防止及び安全確保を図るためにライフセーバーを配置する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算の状況	(a) 当初予算額	19,271	24,886	24,973	37,137	37,137
	(b) 予算現額	19,271	24,886	24,577	37,137	37,137
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	-396	0	0
	(d) 繰越額			0	0	0
	A. 計 (b+d)	19,271	24,886	24,577	37,137	37,137
	B. 執行済額	19270	19018	24,576	37,116	36,217
	うち交付金充当額	15416	15214	18,583	29,692	28,974
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		100.0%	76.4%	100.0%	99.9%	97.5%

予算の状況の説明：当初予定していたスケジュールでの実施により、概ねの予算額を執行出来た。

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ライフセーバー員等の配置 ・古座間味ビーチ　2名 ・阿真ビーチ　2名 ・北浜ビーチ　2名 GW期間中及び梅雨明けから8/31までは各ビーチ1名追加、7/1～8/31はさらに1名追加	目　標	（GW～10月末常駐）	（4月22日～11月20日常駐）	（4月22日～11月20日常駐）	（4月18日～11月30日常駐）
	実　績	ビーチ利用者が少ない日にはライフセーバー1名体制もあった。	7/1～11/20	4/19～11/30	4/19～11/30
ビーチ周辺の危険個所(座間味シル、阿真シル)及び無人島(安慶名敷島、嘉比島)のパトロール	目　標	（　）	（　）	（パトロールの実施）	（パトロールの実施）
	実　績			パトロールの実施	パトロールの実施

達成状況説明：
・令和6年4月15日～12月6日までの期間、一般社団法人沖縄ライフセービング協会に委託し、村指定3ビーチ（古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ）へ常駐、監視業務を行った。なお、4月15日～18日、12月1日～6日までは準備及び片付け期間であり、実質稼働は4月19日～11月30日である。
・監視員の基本配置人数は2名。GW期間は各ビーチにて1名増員（計9名体制）し、夏季繁忙期（7月～8月）は各2名増員（計12名体制）する事で安全安心なビーチの環境づくりを行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
ライフセーバー配置期間中の死亡事故0件	目　標	（　）	（0件）	（0件）	（0件）	（　）
	実　績		0件	0件	0件	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
・村内3ビーチ（古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ）において、令和6年4月19日～11月30日の期間中、ライフセーバーを配置した。
・重篤な溺水事故等もなく、死亡事故を防ぐことが出来たため目標を達成した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・平常時に各ビーチに2名常駐し、繁忙期は増員する事で安全を確保できた。また、ライフセーバーのうち、コントローラー(指定の資格を所持しており5年以上のライフセーバー業務の経験を持つ者)を各ビーチに1名以上配置し監視体制に差が生じないよう徹底したことから、成果目標を達成した。	・引き続き、ライフセーバー配置期間中の死亡事故0件を維持するとともに、外国人観光客の増加が見込まれることから多言語対応を可能にするなど、サービスの質向上と充実に努める必要がある。 ・各ビーチ同数の配置人数で対応しているが、今後はビーチ毎の適正人数を検証し配置する事も検討する必要がある。 ・ライフセーバーを配置しない冬季閑散期においてもビーチを遊泳する観光客がおり、安全面の観点から対策を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

・11月以降の冬季閑散期においても各ビーチで遊泳している観光客がいることから、年間を通してパトロール活動を行える体制を整えていけないか検討する。
・今後の外国人観光客の増加が見込まれる事から、多言語対応可能な人材の確保も今後取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,217	36,217	28,974	7,243	0

座間味村 36,217千円 → 委託料 36,217千円 → 一般社団法人沖縄ライフセービング協会 36,217千円

（令和6年度　座間味村海域安全隊業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・プロポーザル方式にて業者選考を行った。委託事業者は資格等を考慮しており、水難救助という特殊性から妥当と判断したため随意契約を行った。 ・期間、人数から鑑みて適正な規模であった。 ・費用、使途については清算段階で検査を実施し、事業実施に必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	座間味村がんばる観光支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ 持続可能で質の高い離島観光の振興
担当部課名	船舶・観光課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充及び県内周知活動、PR素材の制作委託業務を行う。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算の状況	(a) 当初予算額	19,550	19,550	36,090	31,331	31,331
	(b) 予算現額	12,977	5,650	23,592	31,331	30,581
	(c) 増減額 (b-a)	-6,573	-13,900	-12,498	0	-750
	(d) 繰越額				0	0
	A. 計 (b+d)	12,977	5,650	23,592	31,331	30,581
	B. 執行済額	11143	3204	21643	32,303	30,042
	うち交付金充当額	8914	2563	17314	25,841	24,033
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		85.9%	56.7%	91.7%	103.1%	98.2%

予算の状況の説明：当初予定通りの事業を実施する事で概ね執行完了する事が出来た。

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
各種イベントへの支援	目標	（イベント支援6件）	（イベント支援6件）	（イベント支援6件）	（イベント6件に補助金交付）
	実績	イベント支援2件	イベント支援4件	イベント支援6件	イベント6件に補助金交付
プロモーション施策展開	目標	（　）	（　）	（PR動画のデジタル配信）	（PR動画のデジタル配信）
	実績			配信完了	配信完了

達成状況説明：
・当初予定していた全ての事業（ケラマブルーカップ、ヨットレース、サバニ帆漕レース、座間味島祭り、座間味島ファン感謝月間、ホエールウォッチングフェスタ）が開催され、補助を行った。
・今年度のプロモーション施策展開事業では、閑散期（1月～3月）の観光客数の増加に向けて、11月頃より動画配信サイト（TVer、ABEMA）やSNS（インスタ、YouTube、TikTok等）にて広告配信し、商業施設・公共施設（空港、駅）でのデジタル広告を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R6成果目標（指標）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
入域観光客数112,000人	目標	（112,000人）	（112,000人）	（112,000人）	（112,000人）	（　）
	実績	50,615人	75,413人	94,843人	104,346人	
	目標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実績					

進捗状況説明：
各村内イベントを天候等にも恵まれ盛大に開催し、プロモーション施策展開も県外空港や人が多く行き交う場所等に行ったがそれでも目標には届かなかった。しかし年々右肩上がりに観光客数が増加し、今年は観光客数が6年ぶりに10万人突破することが出来た。

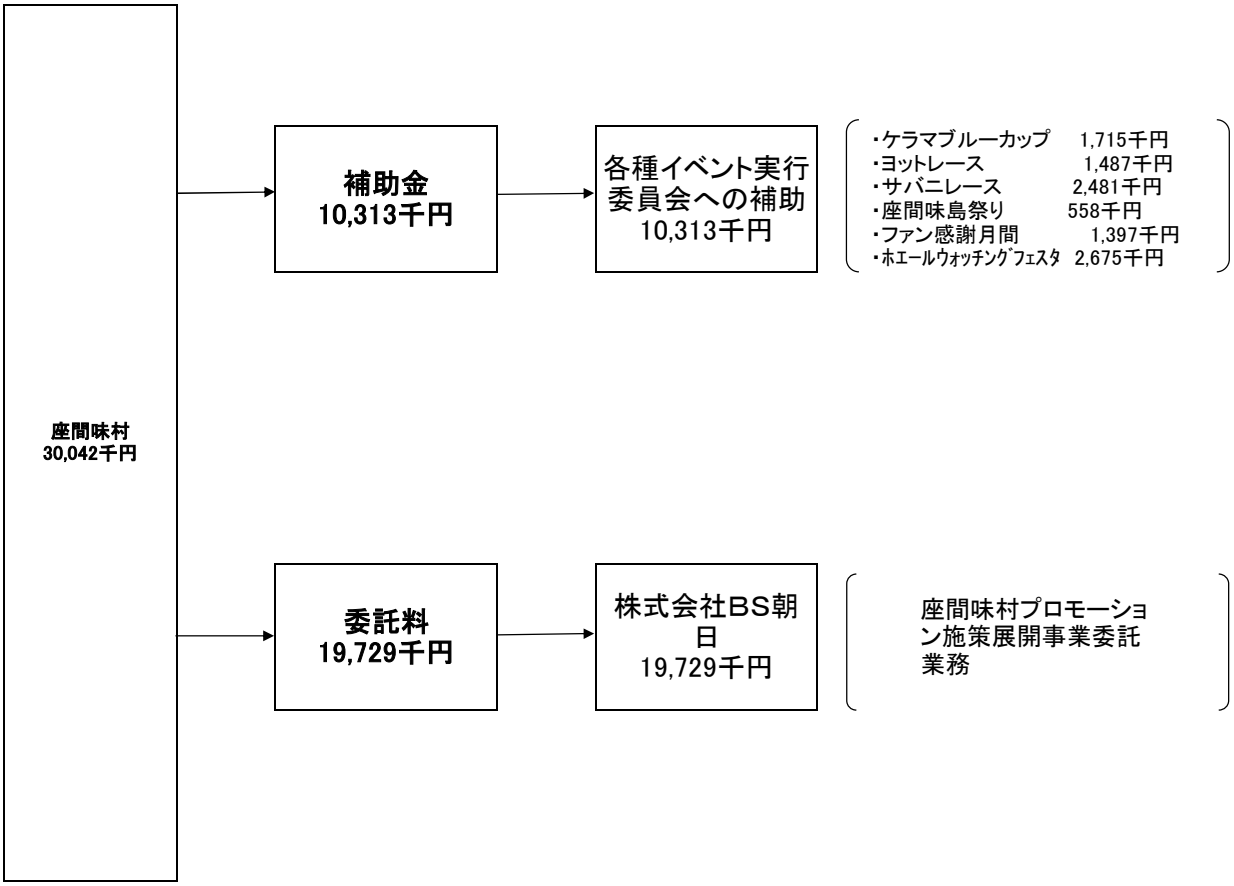
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	目標に到達しなかった原因は次の2点が考えられる。 ・各種イベントは通常通り開催されたものの、ヨットレース、サバニレース（共に6月開催）の参加者がコロナ前の8割程度に留まったため、イベントの参加者を増やす対策が必要と考えられる。 ・高速船の緊急メンテナンス等による運休（9/4-9/12、10/23-12/1）により9月、10月、11月の入域観光客数が前年同月を下回った。 ・全体的な入域観光客数は着実に伸びてはいるが、冬季での誘客数に伸び悩んでいる。	・ヨットレース、サバニレースを含め支援を行う各種イベントの参加者数の増に繋げるために更なる情報発信の強化を検討する。、 ・船舶運航担当と連携し、船舶運航情報の発信を強化する必要がある。 ・入域観光客の平準化に向け冬季の誘客に向けたイベントの創出や効果的なプロモーション動画配信を行う必要がある。

今後の取り組み方針

・各種イベントや船舶運航情報について、本村HPやSNS等を活用した情報発信のみならず、観光協会や各種関係団体での情報発信を行えるよう取り組む。
　また、既存イベントのブラッシュアップや冬季の誘客に向けたイベント創出に取り組む。
・プロモーション動画の配信については、今年度実施した事業の効果検証を行ったうえで、冬季誘客に資する有効的なPRの実施に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,042	30,042	24,033	6,009	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者はプロポーザル方式にて選定しており、妥当であったと考える。また、補助金等の支出については、実施に必要な費用から積算されており妥当である。 ・予算規模は事業規模に見合った範囲内で設定しており、妥当であると考える。 ・事業内容や事業目的等から判断して妥当であると考える。 ・費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	座間味村観光受入拠点事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ 持続可能で質の高い離島観光の振興
担当部課名	船舶・観光課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	外国人を含めた観光客の誘客と満足度の向上を図るため、年中無休の観光案内業と時期に適した観光情報の発信及び村内事業者への取次案内などをスムーズに行い、企画立案と事業展開を実施する観光協会を支援する				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算の状況	(a) 当初予算額	16,660	15,504	16, 722	16, 911	16, 911
	(b) 予算現額	16,660	15,504	16, 722	16, 911	18, 396
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	1,485
	(d) 繰越額				0	0
	A. 計 (b+d)	16,660	15,504	16,722	16,911	18,396
	B. 執行済額	13,863	12,034	14,383	16,701	14,919
	うち交付金充当額	11,090	9,627	11,506	13,360	11,935
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率（%）(B/A)	83.2%	77.6%	86.0%	98.8%	81.1%
	予算の状況の説明	・観光案内の窓口業務は予定通り年中無休で運営した。 ・窓口繁忙につき県外PR活動等への人員を削減した事で不用額が発生した。				

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
観光案内所年中無休（台風等閉鎖）	目　標	（365日）	（365日）	（366日）	（365日）
	実　績	365日	365日	360日	365日
村内外観光客誘客活動	目　標	（8回）	（8回）	（8回）	（5回）
	実　績	1回	4回	5回	5回
観光事業従事者スキルアップ講座 新規メニュー開発4回 心肺蘇生講習会2回	目　標	（8回）	（8回）	（7回）	（6回）
	実　績	1回	4回	6回	3回

達成状況説明
・観光案内所運営について、台風等による閉鎖も無く年中無休で実施した。
・村内外の誘客活動において、目標年5回に対し5回実施出来たので目標達成した。
・新規メニュー開発については目標4回に対し3回の実施に留まった。
・心配蘇生講習会については、悪天候による船舶欠航により未実施となった。

成果目標（指標）及び進捗状況

R6成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
観光客の利便性向上が図られたか（80%以上）を含め、観光客へのアンケートにより本事業のあり方について検証する	目　標	（　）	（満足度80%以上）	（満足度80%以上）	（満足度80%以上）	（　）
	実　績		86.2%	85.30%	83.0%	
観光客へのおもてなしに活用できると感じたか（80%以上）を含め、講習会に参加した観光事業従事者へのアンケートにより、本事業の在り方を検証する。	目　標	（　）	（満足度80%以上）	（満足度80%以上）	（満足度80%以上）	（　）
	実　績		未実施	90%	未実施	

進捗状況説明
・観光客へのアンケート調査の結果、回答のあった71件のうち、59件が「満足」といった回答であった。
・観光事業従事者に対するアンケート調査は、船舶欠航による心配蘇生講座の未実施や観光窓口繁忙により未実施となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（観光客の利便性向上） 年中無休で観光案内業務を提供しており、かつインバウンド対策としてCIRを配置する事で外国人観光客にも対応しており、高満足度に繋がっている。 （おもてなし活用） 観光事業従事者に対するおもてなし向上として心肺蘇生講習会を企画するも悪天候による船舶欠航で中止となり、アンケートも未実施となった。	（観光客の利便性向上） 観光協会職員の人手不足が顕著であり、観光協会を中心に手掛けるイベント運営や10万人を超える観光客を迎え入れる観光案内業務を継続していくためには、運営ノウハウを備えたスタッフの新規採用や業務のDX化促進など運営体制の強化が必要である。 （おもてなし活用） 講習会が船舶欠航となった場合、別日で開催できるよう予め複数の候補日を設定する工夫が必要である。

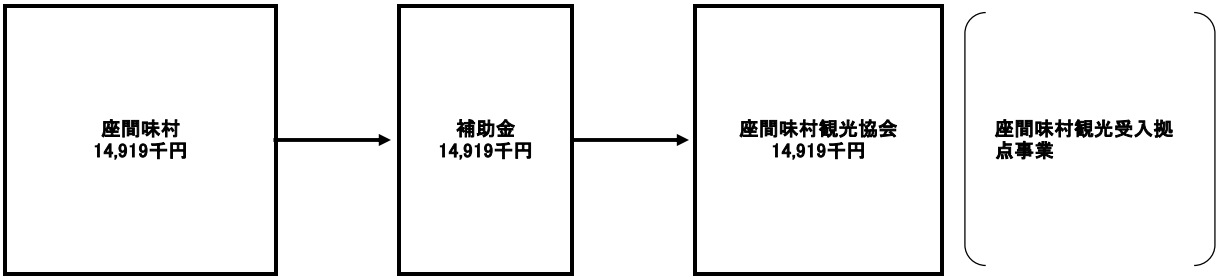
今後の取り組み方針

（観光客の利便性向上）
円安進行や大阪万博開催等の影響もあり今まで以上に日本が注目されている中、更なるインバウンド入域が見込まれることから、窓口案内業務における外国語対応スタッフの配置、パンフレット等の整備に取り組む。また、DX化推進への取り組みについても他地区の観光協会の事例等も参考にしながら検討していく。

（おもてなし活用）
観光事業者や各種団体がおもてなし向上として有益となる講習会を提供できるよう努め、観光受入体制強化に繋げる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,577	14,919	11,935	2,984	1,658



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助金等の支出については、実施に必要な費用から積算されており、妥当である。 ・業務内容に見合った予算規模であるといえる。 ・受益者である観光協会は事業費の1割を自己負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当である。 ・費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－④	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-（1）-イ 沖縄戦の実相・教訓の次世代継承
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成29～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容	座間味村は沖縄戦時を物語る遺跡や記念碑等が点在しており、これらを活用した平和学習や村外・県外の修学旅行生・団体旅行客の誘致を図るために、戦跡等の説明版・案内看板・周辺の環境整備等を行う。
効果発現年度	□当年度　■後年度（令和7年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R2年度（繰越）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算の状況	(a) 当初予算額			5, 830	33, 100	113, 421
	(b) 予算現額			5, 720	30, 888	110, 842
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	-110	-2,212	-2,579
	(d) 繰越額	14,498				
	A. 計 (b+d)	14,498	0	5,720	30,888	110,842
	B. 執行済額	14, 498		5, 720	30,888	109,505
	うち交付金充当額	11, 599		4, 576	24,710	87,604
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	98.8%

予算の状況の説明：当初予算より調査物価会の計算を経て金額が変更になった。
増減額については、入札の結果、入札残が発生し当初見込みよりも減額となった。

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
平和の塔園路整備工事・施工監理	目　標	（　）	（調査業務 設計業務）	（座間味島内の戦跡等の周辺環境整備の完了）	（平和の塔園路整備の完了）
	実　績		実施	実施	整備工事・施工管理の完了
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業　平和の塔園路整備工事を実施、完了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R6成果目標（指標）		基準値（　年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（　年度）
平和の塔進入路の整備工事の完了	目　標	（　）	（完了）	（完了）	（完了）	（完了）
	実　績		完了	完了	完了	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業　平和の塔園路整備工事を実施、完了した。

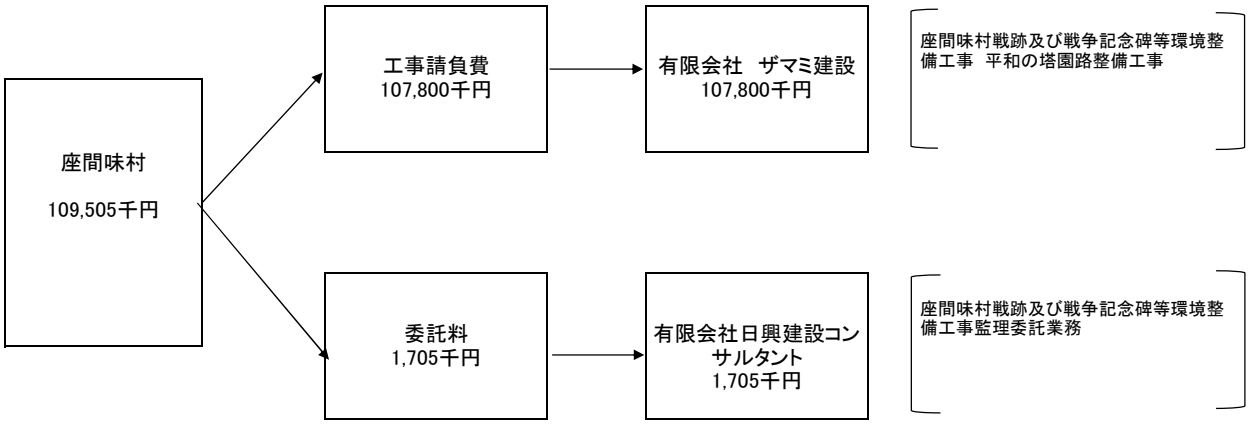
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	工事を実施するにあたり、環境省の指示のもと資材の種類やカラー等を使用し正確に実施した。また、工事する範囲が狭く、車両が通る場所ではないため、人力で資材を運ばなければならない場所もあり、その方法について適宜工夫したことで年度内に完了できた。	整備工事は、環境省の指示に沿って資材やカラー等を使用した工事となっており、正確な実施状況であるため、改善の余地はないと考える。

今後の取り組み方針

令和6年度、戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業が完了したことを、村内各種団体、宿泊施設、観光業経営者、住民に周知し、村民・観光客・修学旅行等の利用を促す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
109,505	109,505	87,604	21,901	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模について不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑤	座間味村防災力強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－2－（4）－（ア） 危機管理体制の強化
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	令和６～令和７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－（3）
事業内容	災害時の備えや発災時の住民及び観光客の安心・安全を確保するため、老朽化している消防車車庫を改築し、備蓄倉庫を設置する。				
効果発現年度	■当年度　■後年度（令和8年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R6年度				
予算の状況	(a) 当初予算額	8,932				
	(b) 予算現額	8,932				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	8,932				
B. 執行済額		8,932				
うち交付金充当額		7,145				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。				

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R6年度			
設計業務の実施	目　標	（設計業務の実施）			
	実　績	設計業務の実施			
	目　標	（　）			
	実　績				
達成状況説明	令和6年度については、設計業務を実施し完了した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R6成果目標（指標）		基準値（R6年度）	R6年度			目標値（R6年度）
設計業務の完了	目　標	（設計業務の完了）	（設計業務の完了）			（設計業務の完了）
	実　績		設計業務の完了			
	目　標	（　）	（　）			（　）
	実　績					
進捗状況説明	令和6年度については、設計業務を実施し、完了した。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・設計業務については概ね想定通りのスケジュールで進行し期限内に完了した。 ・次年度の工事発注に関して、本村は観光が主産業であることから工事関係者の宿泊場所の確保が難しいことが予想されるほか、船舶の欠航等による資材運搬の遅れが懸念される。	・次年度の工事発注を可能な限り早期に実施することで、工事関係者等の宿泊先が早めに確保できるようにする。資材運搬に係る船舶予約等も可能な限り村が協力する。

今後の取り組み方針

令和6年度中で座間味村防災力強化事業における消防車車庫・防災備蓄倉庫設計を完了した。令和7年度中に消防車車庫の建築及び防災倉庫の設置を計画する。
運用開始となる令和8年度に向けて運用マニュアルを整備し、当該マニュアルにに基づく訓練を実施し、初動時間の5分短縮、災害時の対策本部立ち上げを10分短縮を図る。また、防災倉庫設置による対応人数が400人増加となることから、適切に活用できるよう災害時を想定した訓練を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,932	8,932	7,145	1,787	0

座間味村 8,932千円 → 委託料 8,932千円 → 株式会社　アート設計 8,932千円 → 座間味村防災力強化事業（消防車車庫・防災備蓄倉庫設計委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額はなく、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-エ 離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)

事業内容	離島交通ネットワーク手段の確保として、船舶欠航時やダイヤ変更時にチャーターヘリコプターを利用した際の運賃の一部を補助する。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,760	2,160	3,300	3,300	3,300
	(b) 予算現額	2,100	2,160	4,300	3,300	3,300
	(c) 増減額 (b-a)	▲660	0	1,000	0	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	2,100	2,160	4,300	3,300	3,300
B. 執行済額		1470	1080	3750	2,300	1,950
うち交付金充当額		1176	864	3000	1,840	1,560
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		70.0%	50.0%	87.2%	69.7%	59.1%

予算の状況の説明：村内入域観光客数もコロナ前の10万人まで回復傾向にあるため、H29年～R2年の過去4年間のフライト回数平均66回で設定した。本事業の補助要件は天候不良等により村営定期船が欠航時が対象となっている。今年度は台風の襲来も少なく、冬場の欠航が少なかったため、50千円×39フライト、1,950千円となり、1,350千円の不用額が発生した。

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
村営船舶航路欠航時等におけるチャーターヘリコプター費用の支援実施	目　標	（　支援　）	（　支援　）	（　支援　）	（　支援　）
	実　績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：慶良間空港～那覇空港間の運行回数39回分の運賃の一部支援を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R6成果目標（指標）		基準値（　年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（　年度）
利用者アンケートを実施し、「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。	目　標	（　）	（80%）	（80%）	（80%）	（　）
	実　績		99.5%	99.1%	100.0%	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
アンケート調査の結果、回答100件(100%)
利用状況　県外83件、海外3件、村内7件、県内7件
料金設定　高い5件、適正74件、安い20件　未回答1件
利用満足度　大満足94件、やや満足4件、満足1件、未回答1件、
どのような利便性を感じるかについては(複数回答)、代替えがある86件、不便を感じない22件、時間の短縮53件、価格負担の軽減41件
利用者の満足度は非常に高く、主に船舶欠航時の代替の移動手段があること、船に比べ移動時間の短縮になることに対し、利便性が図られたといった感想が多く寄せられた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（利用客の満足度） ・利用者アンケートの満足度は高く、船舶欠航時の代替移動手段として高い評価を得ているが、アンケート調査の内訳を見ると、外国人の利用状況が少ない。	・引き続き利用者から高い評価を得ることが出来るよう努めながら、外国人利用者の増に繋げるため、運航会社と連携を図り周知する必要がある。

今後の取り組み方針

外国人利用者の増に繋げるため運航会社と連携を図り知名度を上げる工夫と、村及び観光協会HPでの情報発信の強化を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,950	1,950	1,560	390	0

座間味村 1,950千円 → 補助金・負担金 1,950千円 → エクセル航空株式会社 1,950千円

（船舶欠航時ヘリコプターチャーター1フライトに対する運賃の一部支援）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内においてヘリコプターによる輸送業務を行う事業者は当事業者しか無いという理由から、地方自治法第167条の2第2項に基づき随意契約を行った。 ○不用額1,350千円が生じたが、村内入域観光客数もコロナ前の10万人まで回復していることからこれを鑑み設定したものであり、予算規模は適正である。 ○受益者負担は最大5人利用時に高速船の那覇発往復料金と同等となっており、妥当である。 ○事業の使途については、実績報告、額の確定時において書類等により確認しており、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	座間味村自動車航送運賃低減化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-エ 離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築
担当部課名	船舶・観光課	事業実施（予定）年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)

事業内容	離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るため、高額である本島～座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,199	3,854	5,222	4,506	4,283
	(b) 予算現額	4,420	4,678	5,222	4,506	5,692
	(c) 増減額 (b-a)	221	824	0	0	1,409
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	4,420	4,678	5,222	4,506	5,692
B. 執行済額		4420	5092	5,885	5,925	5,588
うち交付金充当額		3535	4073	4,078	4,739	4,471
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		100.0%	108.8%	112.7%	131.5%	98.2%

予算の状況の説明：当初予算4,283千円としたが、想定よりも100台多くなる見通しとなったため1,409千円の増額補正を行った。

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
車両航送運賃の低減化支援	目　標	（　支援の実施　）	（　支援の実施　）	（　支援の実施　）	（　支援の実施　）
	実　績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	支援の実施
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：沖縄本島での公共交通機関の混雑、レンタカー不足・料金高騰もあり、安全で安価な移動手段として自家用車を使用するために車両航送を利用する方もおり、支援台数は当初の想定より100台以上多かった。
(4月 42台、5月 69台、6月 58台、7月 62台、8月 56台、9月 44台、10月 53台、11月 76台、12月 87台、1月 56台、2月 50台、3月 33台)
当初想定していた車両台数より多く運賃低減化支援を行うことが出来た。

成果目標（指標）及び進捗状況

R6成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
利用者へアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により当該事業の在り方を検証する。	目　標	（　）	（80%以上）	（80%以上）	（80%以上）	（　）
	実　績		82.6%	90.8%	91.2%	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：アンケートを実施し、686件中625件が満足しているとの結果であった。(満足度91.2%)
さらに、満足度が年々上昇し利用者が使用しやすくなっていると感じている。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・成果目標を達成しアンケート結果も年々向上していることから、住民の負担軽減になっている事業と考える。 ・沖縄本島のレンタカー料金の高止まりや食料品・燃料代など様々な物価高騰の影響がある中での運賃低減が目標達成の要因であると考える。	・物価高騰が続く中、「事業に満足している」との回答が91.2%と高い水準にある本事業は継続していく必要があると考える。 ・成果目標には達成できたが、利用者の方からは補助率を高められないかとの意見もあり補助率の見直しを行う必要があると感じた。

今後の取り組み方針

・沖縄振興特別推進交付金を活用した事業であること、離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るために車両航送運賃の一部を支援している事業であることを利用者に認識してもらい、更なる利用者の満足度向上を図る為、アンケート内容に具体的に事業の内容を記載しより満足度向上にむけて取り組む。
・補助率の見直しを行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,588	5,588	4,471	1,117	0

座間味村 5,588千円 → 補助、負担金 5,588千円 → 航路事業者 5,588千円

（フェリー車両航送に係る運賃の一部支援）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の支出については、実施に必要な費用から積算されており、妥当である。 ○予算規模については、適正な規模となっている。 ○受益者については、実施要綱に定めたとおり正規料金の5割を自己負担としており、負担関係は妥当だと考える。 ○座間味村自動車航送運賃低減化事業の実施要綱に定めたものに限定し執行している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	座間味村冬季船舶運賃低減化実証実験事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-（10）-ウ 持続可能で質の高い離島観光の振興
担当部課名	船舶・観光課	事業実施（予定）年度	令和4～令和7年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)

事業内容

入島手段が船舶に限られる座間味村では、オフシーズン（冬季1月～3月）における観光客の落ち込みが見られる。 冬季観光客の増加と年間観光客数の平準化を図るため、那覇発の往復船舶運賃を低減化する実証実験を行う。

効果発現年度

■当年度　□後年度（　　年度）

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度	R6年度		
予算の状況	(a) 当初予算額	9,085	8,085	8,085		
	(b) 予算現額	9,085	8,085	13,528		
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	5,443		
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	9,085	8,085	13,528		
B. 執行済額		12,805	12,158	13,528		
うち交付金充当額		10,244	9,725	10,822		
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		140.9%	150.4%	100.0%		

予算の状況の説明：目標9,500名を大幅に上回る16,717名（＋7,217名）の利用となったため、増額補正を行った。

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度	R6年度	
冬季（1月～3月）にフェリー及び高速船の那覇発の船舶運賃を低減する。	目　標	（　支援の実施　）	（　支援の実施　）	（　支援の実施　）	（　　）
	実　績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：当初の想定より入域客数が多く過去2番目に多い入域客数となった。
利用者からは船舶運賃が安くなり来島したと声を頂いたので本来の目的が達成できたと考える。

成果目標（指標）及び進捗状況

R6成果目標（指標）		基準値（　年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（　年度）
1月～3月旅客数：9,500名以上 1月～3売上：40,000千円以上	目　標	（　　）	9,500名 （40,000千円）	8,000名 （34,000千円）	9,500名 （40,000千円）	（　　）
	実　績		14,851名 47,335千円	15,419名 48,628千円	16,717名 73,092千円	
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：新型コロナウイルス感染症の5類移行、昨年に引き続き本事業を実施したこともあり、当初の想定より多くの観光客が本事業の運賃低減を利用して来島した。
（1月 5,023人　2月　5,271人　3月　6,423人　合計　16,717人・支援額　13,528,000円）

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・昨年度に引き続き、目標値を達成することができた。また、1月と3月は過去最高の入域客数を記録した。 ・船舶の席数にまだ空きはある状態なので引き続き事業を行い年間の観光客数の平準化を目的とし引続き事業の検証を行う必要がある。	目標数値以上の結果となり、より多くの観光客の経済的負担を軽減することが出来た。乗船して初めて知ったとの声もあったことから広報等については改善の余地があったと考える。

今後の取り組み方針

・目標数値は達成したものの、全体の入域客数からすると平準化が図れているとは言えないので、村HP、SNS等での告知を更に充実させ冬季観光客の増加と年間観光客数の平準化を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,528	13,528	10,822	2,706	0

座間味村 13,528千円 → 補助、負担金 13,528千円 → 航路事業者 13,528千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の支出については、実施に必要な費用から積算されており、妥当である。 ○予算規模については、適正な規模となっている。 ○受益者は、実施要綱に定めたとおり正規料金の8割を負担しており、負担関係は妥当である。（正規料金の2割を低減） ○座間味村冬季船運賃低減化実証実験事業の実施要綱に定めたものに限定し執行している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑤	幼稚園預かり保育支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－2－（2）－（ア） 子ども・子育て支援の充実
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	令和6～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－4－（2）

事業内容	自営業者が多く保護者が共働きの家庭が多い本村において、多様な保育ニーズに対応するため、村立幼稚園において、通常期間降園時間以降17時まで、ならびに夏季休業期間8時から17時までの間預かり保育を実施する。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R6年度				
予算の状況	(a) 当初予算額	3,216				
	(b) 予算現額	2,554				
	(c) 増減額 (b-a)	-662				
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	2,554				
	B. 執行済額	2,448				
	うち交付金充当額	1,958				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.8%				

予算の状況の説明：年度途中にて支援員の勤務状況により、不用見込み額を他事業へ流用を行った。

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R6年度			
預かり保育支援事業の実施	目　標	（預かり保育実施）			
	実　績	2園中1園にて実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：村立幼稚園2園中1園にて預かり保育を実施。残り1園については保護者の希望状況、人員確保、今後の園児数の推移を勘案しつつ実施を検討。

成果目標（指標）及び進捗状況

R6成果目標（指標）		基準値（年度）	R6年度			目標値（年度）
預かり希望日数に対しての受入れ実績日数50%以上	目　標	（　）	希望に対して受入50%以上			（　）
	実　績		55.70%			

進捗状況説明：預かり保育を210日実施し、希望延べ人数4,720人に対して、延べ人数は2,629人となり、希望に対する受入状況は55.7%となった。支援員のさらなる確保が必要となっている。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	令和6年度預かり保育事業の実施においては、気象警報の発令等による休園がなかったため、予定していた全日数の事業を実施できたが、希望人数に対する受け入れ状況としては検討が必要である。	引き続き事業を実施するとともに、さらなる人材確保を行い、希望状況に対する受入を拡大する。

今後の取り組み方針

現在園児のほぼ全員が降園後の預かり保育を希望しており、希望時間全ての受入ができていないため、人員の配置を行い、希望に対応できる体制を整備する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,448	2,448	1,958	490	0

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○預かり保育支援員については保有資格ならびに経験等を考慮の上採用しており、妥当と考える。 ○年度途中で予算の減額を行い、結果不用額は5%以内となっており適正な規模で合った。 ○受益者との負担について、その事業の性質から受益者負担を求めない旨判断した。 ○費目・使途については目的に即し必要な物であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	座間味村

令和６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑥	児童・生徒派遣支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－5－（2）－（ウ） 個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	令和6年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－（1）

事業内容	村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会の県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、交通費、宿泊費等の補助を行う。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R6年度				
予算の状況	(a) 当初予算額	3,806				
	(b) 予算現額	2,983				
	(c) 増減額 (b-a)	-823				
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	2,983				
	B. 執行済額	1,595				
	うち交付金充当額	1,276				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		53.5%				

予算の状況の説明：補助対象外経費である食費を含んでいることに加え、天候不良による大会不参加、参加者減によって補助対象事業の減少したことにより、予算の執行率が低くなっている。

活動目標（指標）及び達成状況

R6活動目標（指標）		達成状況 R6年度			
島外の人との競争や交流の機会を確保する事で、児童生徒に広い視野を持たせる。	目　標	（　派遣実施　）			
	実　績	派遣回数：38回			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：派遣予定回数42回に対し派遣回数38回（天候不順等による派遣中止2回、参加者都合による派遣中止2回）（スポーツ大会：23回、文化活動他：15回）

成果目標（指標）及び進捗状況

R6成果目標（指標）		基準値（　年度）	R6年度			目標値（　年度）
児童生徒が各種スポーツ大会及び文化活動等に、意欲的に取り組んでいるか等を結果を見て、本事業のあり方を検証する。	目　標	（　）	（　県大会出場）			（　）
	実　績		3大会/12名派遣			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：小規模校でありながら、上位大会への出場を果たしており、意欲的に取り組んでいる結果が表れているものと思われる。（スポーツ大会：2大会5名、文化活動：1大会7名）

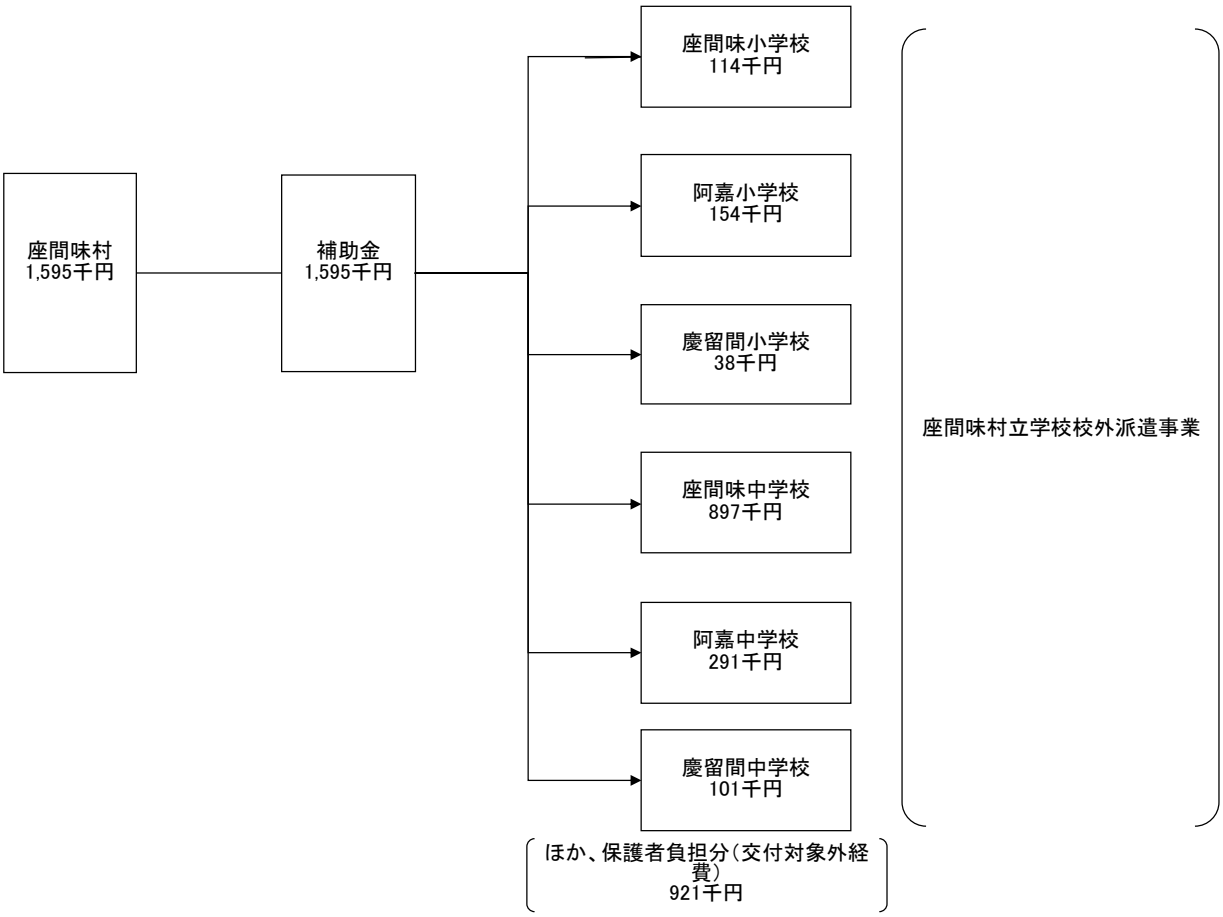
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・大会結果・天候等によって派遣回数が大きく左右され、派遣回数や予算執行状況への影響が大きくなる。 ・島ちゃびの解消の点から、本島内での移動手段確保のため学校車を運搬しているが、児童生徒の移動に間に合うように前日の運搬が必要など教職員の負担となっている部分がある。	・観光シーズンなどレンタカー価格が高騰している場合を除き、レンタカーやその他交通手段を使用することにより、教職員の負担軽減を検討する。

今後の取り組み方針

令和6年度の事業内容を継続しつつ、さらに児童生徒が意欲的に参加できるようにするとともに、効果的な取組を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,516	1,595	1,276	319	921



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村立小中学校在籍児童生徒への補助としており妥当と考える。 ○派遣にあたっては、天候不順等不可抗力による不参加が発生するため、予算規模は適正であると考える。 ○受益者である保護者より1日当たり1千円の負担金を徴収。 ○費目・使途については前渡金精算時に検査しており、目的に即し、必要な物であったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	